

平成28年度三重県公営企業会計（病院事業庁）

決算審査意見書概要説明

三重県監査委員

平成28年度三重県公営企業会計（病院事業庁）

決算審査意見書概要説明

第1 審査の概要

審査の対象は、病院事業庁が経営する平成28年度の三重県病院事業会計です。

決算の審査は、知事から提出された決算書類の内容について

- ① 決算の計数は正確であるか
- ② 決算諸表は、経営成績及び財政状態を適正に表示しているか
- ③ 予算は、議決の趣旨に沿って合理的かつ効率的に執行されているか
- ④ 事業経営は、常に経済性の発揮及び公共の福祉を増進するよう運営されているか

などを重点に、会計諸帳票、証拠書類との照合精査を行うとともに、必要な資料の提出を求め、関係当局の説明を聴取し、併せて定期監査、例月出納検査等の結果を参考に、慎重に審査を行いました。

第2 審査の結果及び意見

1 審査の結果

病院事業の決算諸表は、地方公営企業法及び関係法令に則り、病院事業庁会計規程に基づいて作成されており、その計数は正確であり、経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認められます。

また、事業の経営については、以下の意見のとおり留意又は改善を要するものを除き、概ね適正に処理されているものと認められます。

(以下、この概要説明においては、金額は万円未満を切り捨てています。)

2 審査の意見

(1) 平成 28 年度決算と新たな中期経営計画の推進について

平成 28 年度病院事業会計の経常収支及び総収支は、いずれも 1 億 1,177 万円の黒字となっており、27 年度決算に比べてそれぞれ 3,958 万円、3,682 万円増加しています。

しかしながら、医業収支は赤字であり、また、当年度未処理欠損金（累積欠損金）は、前年度に比べ改善したものの、約 92 億円と多額であることから、引き続き、経営の健全化に努めていただきたい。

また、三重県地域医療構想等をふまえた、新たな中期経営計画（平成 29～32 年度）が策定されたので、各病院がそれぞれの役割・機能を十分に発揮できるよう、計画を着実に推進していただきたい。

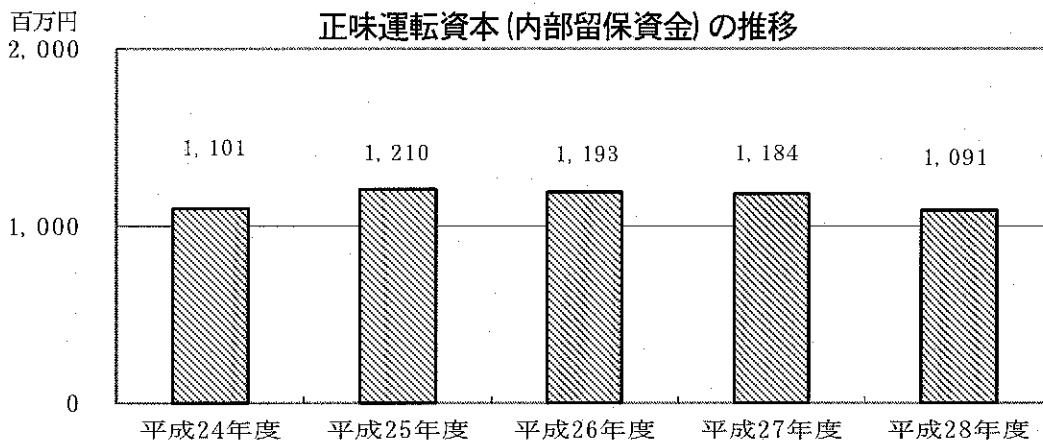
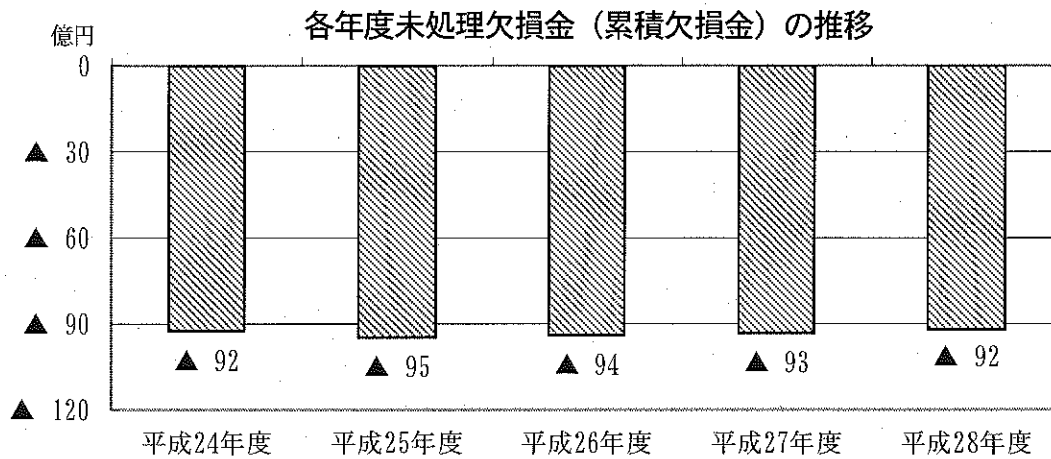
なお、平成 28 年度の各病院の収支状況及び留意事項については、次のとおりです。

収益的収支の状況

(単位：円)

病院名等	区分	平成28年度 (A)	平成27年度 (B)	増減 (A) - (B)
こころの医療センター	医業収支	△ 832,414,044	△ 815,573,581	△ 16,840,463
	経常収支	25,688,798	50,005,454	△ 24,316,656
	総収支	25,688,798	51,364,997	△ 25,676,199
一志病院	医業収支	△ 235,332,961	△ 295,453,238	60,120,277
	経常収支	88,295,833	27,446,148	60,849,685
	総収支	88,295,833	27,266,068	61,029,765
志摩病院	医業収支	△ 1,112,929,615	△ 1,065,082,869	△ 47,846,746
	経常収支	△ 2,210,903	△ 5,258,388	3,047,485
	総収支	△ 2,210,903	△ 3,686,593	1,475,690
県立病院課	医業収支	△ 104,523,897	△ 102,744,682	△ 1,779,215
計	医業収支	△ 2,285,200,517	△ 2,278,854,370	△ 6,346,147
	経常収支	111,773,728	72,193,214	39,580,514
	総収支	111,773,728	74,944,472	36,829,256

(注) 医業収支は、医業収益から医業費用を差し引いたもの。経常収支は、医業収支に医業外収益を加えて医業外費用を差し引いたもの。総収支は、経常収支に特別利益を加えて特別損失を差し引いたもの。なお、志摩病院は指定管理者の収支を含んでいない。



（注）正味運転資本（内部留保資金）

現金預金及び1年以内に資金の収入が見込まれる流動資産（貸倒引当金を除く）から、1年以内に資金の支出が見込まれる流動負債（企業債・引当金を除く）を差し引いたもので、資金繰りの状況を示す数値。

ア こころの医療センター

経常収支、総収支ともに2,568万円の黒字となっているものの、前年度に比べそれぞれ2,431万円、2,567万円減少しています。これは、医業収益が減少したことなどによるものです。

このため、入院・外来患者の確保はもとより、適切な病床運用による稼働率と診療単価の向上などにより、医業収益の増加に努めていただきたい。

また、「入院医療中心から地域生活支援中心へ」という精神科医療の方向性をふまえ、精神科医療の中核病院としての役割を担うとともに、地域生活支援施設の運用等による外来患者に対する支援を図るなど、多様な医療ニーズに応じたサービスの提供に努めていただきたい。

イ 一志病院

経常収支、総収支とも 8,829 万円の黒字となっており、前年度に比べそれぞれ 6,084 万円、6,102 万円増加しています。これは、入院収益や外来収益の増加に加え、津市からの受託料が増加したことなどによるものです。

引き続き、入院・外来患者や健康診断等の受診者の確保に努め、収益の増加につなげるとともに、材料費や経費の費用縮減を図り、健全経営に努めていただきたい。

また、過疎化、高齢化が進み、住民の医療ニーズがより一層高まっている中、幅広い臨床能力を有する総合診療医（家庭医）の育成拠点施設としての役割を果たすとともに、地域の予防医療や在宅療養支援に取り組むなど、引き続き、地域に最適な医療サービスの安定的な提供に努めていただきたい。

ウ 志摩病院

志摩病院では、平成 24 年度以降、指定管理者制度を導入しています。

平成 28 年 2 月から伊勢志摩区域で不足している回復期機能を確保するための地域包括ケア病棟を稼働しています。

また、内科系においては、平成 28 年 5 月から 24 時間 365 日の救急受入態勢を実現したところですが、外科系における救急受入態勢や、産婦人科など一部診療科における常勤医師の配置などが進んでいません。

このような状況をふまえ、指定管理者と十分な連携を図り、常勤医師の配置やさらなる救急受入態勢の拡充など診療機能の充実強化に取り組むとともに、回復期機能も有する地域の中核病院としての役割を果たすよう努めていただきたい。

【参考】

1 志摩病院決算額 (対前年度比較:主な項目のみ)

(単位:百万円)

主な項目		平成28年度 (A)	平成27年度 (B)	増減 (A) - (B)	主な増減理由
収入	入院収益	2,393	2,125	268	○延入院患者数(一般+地域包括ケア病棟)の増 (H27: 42,390人→H28: 48,020人)
	外来収益	894	871	23	○延外来患者数(一般)の増 (H27: 68,121人→H28: 68,620人)
	負担金等	547	552	△5	○対象職員数の減に伴う現給補償の減 △2百万円
	長期前受金戻入	140	130	10	○減価償却費の増加による増
	特別利益	0	21	△21	○未収金の復元処理の皆減
支出	給与費	2,262	2,150	112	○医師給の増 20百万円 ○看護師給の増 9百万円 ○事務職員給の増 20百万円 ○介護職員給の増 15百万円
	材料費	663	635	28	○薬品費の増 15百万円 ○診療材料費の増 12百万円
	経費	868	831	37	○委託費の増 34百万円 ○光熱水費の減 △8百万円 ○修繕費の減 △7百万円
	減価償却費	401	392	9	○償却対象資産の増
	特別損失	0	19	△19	○貸倒引当金の計上の皆減
医業収支		△870	△974	104	
経常収支		△230	△346	116	
総収支		△230	△344	114	

- (注) 1 決算額については、県決算額と指定管理者決算額の合計額(参考値)である。なお、県と指定管理者間とのやりとりで二重計上となる収益・費用は除いている。
- 2 県から指定管理者への赤字補てんである経営基盤強化交付金は含めずに比較している。
- 3 前年度と比較して、経常収支は約116百万円、総収支は約114百万円それぞれ改善している。

2 志摩病院における政策的医療交付金、経営基盤強化交付金の推移(支出ベース)

(単位:円)

	28年度決算額	27年度決算額	26年度決算額	25年度決算額
政策的医療交付金 (指定管理料)	485,780,000	481,948,000	474,816,000	465,881,000
経営基盤強化交付金 (赤字補填)	251,856,487	220,353,668	401,917,304	458,627,730
合計	737,636,487	702,301,668	876,733,304	924,508,730

3 志摩病院における救急患者の受入態勢（平成 28 年 5 月 9 日以降）

（○は毎週、△は隔週で対応）

	区 分	月	火	水	木	金	土	日・祝
内科系	昼 間（8:30～17:00）	○	○	○	○	○	○	○
	準夜間（17:00～22:30）	○	○	○	○	○	○	○
	深 夜（22:30～8:30）	○	○	○	○	○	○	○
外科系	昼 間（8:30～17:00）	○	○	○	○	○	○	○
	準夜間（17:00～22:30）	○			○	○	△	
	深 夜（22:30～8:30）					△	△	

（出典）三重県病院事業庁 平成 29 年 6 月例月出納検査追加説明資料

（注） 県と指定管理者の基本協定（平成 24～33 年度）では、「平成 26 年度以降の 24 時間 365 日体制の整備を目標とする。診療時間外の救急外来については、指定管理開始後 3 年を目指して内科系、外科系 1 名の医師を配置し、診療体制の回復に努める。」としている。

4 常勤医師の推移

診療科等	県直営		指定管理					(単位：人)
	H24.3	H24.4	H25.4	H26.4	H27.4	H28.4	H29.4	
内科及び救急・総合診療科	5	7	11	17	11	14	14	
外科	3	4	3	3	3	3	3	
整形外科	3	2	2	2	2	2	2	
脳神経外科	1	1	1	0	0	0	0	
眼科	1	1	1	1	1	1	1	
産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	
小児科	0	0	1	1	1	1	1	
東洋医学・皮膚科	0	0	0	1	1	1	1	
泌尿器科	1	1	1	1	1	1	1	
精神科	3	3	3	3	2	2	2	
放射線科	1	1	1	1	1	1	1	
緩和ケア	2	2	0	0	0	0	0	
計	20	22	24	30	23	26	26	

（出典）三重県病院事業庁 平成 29 年 6 月例月出納検査追加説明資料

（注） 基本協定では、「小児科及び産婦人科の入院診療体制は、指定管理運営開始から 3 年後を目標に常勤医師の確保に努める。政策的医療をより充実させるため、常勤医師 41 名体制を目標とし、さらなる医師確保に努める。」としている。

(2) 未収金の回収と発生防止について

平成 28 年度末における病院事業庁全体の診療費自己負担金の未収金（過年度収入未済額）は、前年度と比べて 118 万円減少し、7,683 万円となっています。

未収金の回収については、裁判所を通じての支払督促、弁護士法人への回収委託等を行っており、平成 28 年度中に 460 万円を回収しているところではありますが、引き続き、回収に向けての取組を進めていただきたい。

また、平成 28 年度においては、415 万円の未収金が新たに発生しているため、早期の回収に努めるとともに、未収金発生防止に向けた取組を継続していただきたい。

診療費自己負担金の過年度未収金

(単位：千円)

病 院 名	平成28年度末 (A)		平成27年度末 (B)		増減 (A)-(B)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
こころの医療センター	302	49,224	284	48,622	18	602
一 志 病 院	24	968	20	966	4	2
志 摩 病 院	206	26,638	219	28,425	△ 13	△ 1,787
合 計	532	76,830	523	78,013	9	△ 1,183

(注) 志摩病院に関しては、指定管理者による運営に移行する以前の未収金（平成 24 年 3 月 31 日までに発生したもの）であり、本庁（県立病院課）が所管している。

未収金増減の内訳

(単位：千円)

病 院 名	新規発生 (A)	回収 (B)	不納欠損 (C)	計 (A-B-C)
こころの医療センター	4,006	3,404	-	602
一 志 病 院	148	146	-	2
志 摩 病 院	0	1,050	737	△ 1,787
合 計	4,155	4,601	737	△ 1,183

(注) 四捨五入処理のため、合計額が合わない場合がある。

第3 経営の概要

1 事業の概況

病院事業は、病院事業庁が総合医療センター、こころの医療センター、一志病院及び志摩病院の4病院を運営してきましたが、平成24年4月からは、総合医療センターが地方独立行政法人に移行したことから3病院になったほか、志摩病院については指定管理者制度を導入しています。

3病院の許可病床数は、平成28年度末時点で計784床です。こころの医療センターは、病院機能再編の取組の一環として、平成28年4月から許可病床数を400床から348床としています。一志病院は、許可病床数は86床ですが、そのうちの療養病床40床は休床となっており、稼働病床数は一般病床のみの46床です。志摩病院は、許可病床数は350床ですが、地域包括ケア病棟の拡充に伴い、平成28年10月から一般病床の稼働病床数を177床から184床としています。

患者数の状況としましては、平成28年度の入院患者数は延べ198,984人(1日平均545人)で、前年度に比べ9,134人増加し、外来患者数は延べ160,458人(1日平均660人)で、前年度に比べ95人増加しています。

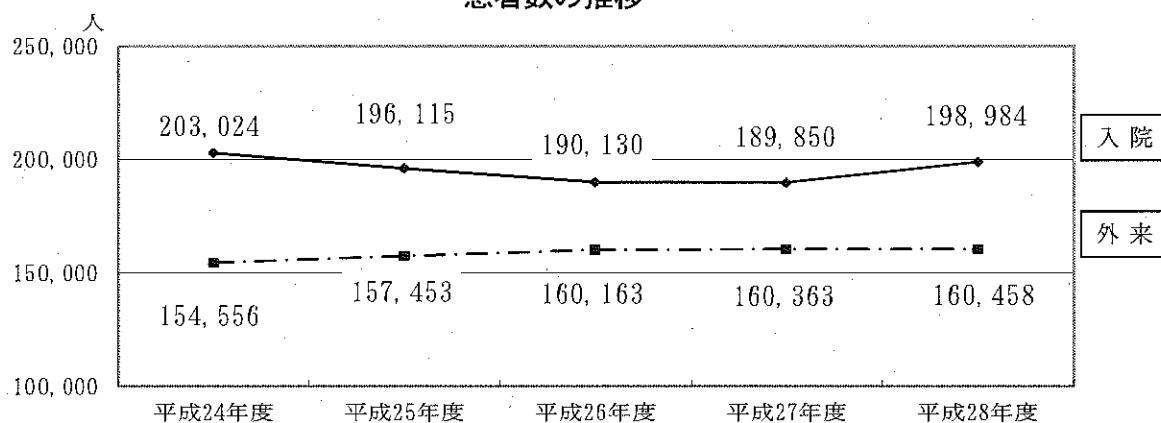
県立病院の概要

平成29年3月31日現在

病 院 名		こころの医療 センター	一志病院	志摩病院
診療科目 (平成28年度休診中 のものを除く)		精神科 内科 歯科 (内科・歯科は 入院患者にの み対応)	内科 外科 眼科	内科/循環器科/外科/ 脳神経外科/小児科/整 形外科/皮膚科/眼科/ 耳鼻咽喉科/精神科/ 放射線科/泌尿器科/産 婦人科/神経内科
許 可 病 床 数	一 般		46 (46)	250 (184)
	療 養		40 (0)	
	精 神	348 (348)		100 (100)
	計	348 (348)	86 (46)	350 (284)

(注) 許可病床数の()は、稼働病床数

患者数の推移



2 経営成績

平成28年度の総収益は55億420万円であり、内訳は入院・外来収益等の医業収益が28億4,720万円、一般会計からの繰入金等の医業外収益が26億5,700万円となっています。総収益は、一志病院の津市からの受託料増加などにより、前年度に比べ3,591万円増加しています。

総費用は53億9,243万円であり、内訳は給与費、材料費等の医業費用が51億3,240万円、企業債支払利息等の医業外費用が2億6,002万円となっています。総費用は、特別損失の皆減などにより、前年度に比べ91万円減少しています。

この結果、純損益は1億1,177万円の黒字となり、前年度に比べ3,682万円収支が改善しています。

病院事業の収益的収支

(単位：円)

科 目	平成28年度 (A)	平成27年度 (B)	増減 (A) - (B)
総 収 益	5,504,205,494	5,468,293,263	35,912,231
医 業 収 益	2,847,205,417	2,807,920,743	39,284,674
医 業 外 収 益	2,657,000,077	2,617,951,262	39,048,815
特 別 利 益	0	42,421,258	△ 42,421,258
総 費 用	5,392,431,766	5,393,348,791	△ 917,025
医 業 費 用	5,132,405,934	5,086,775,113	45,630,821
医 業 外 費 用	260,025,832	266,903,678	△ 6,877,846
特 別 損 失	0	39,670,000	△ 39,670,000
経 常 損 益	111,773,728	72,193,214	39,580,514
純 損 益	111,773,728	74,944,472	36,829,256

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含んでいない。

3 一般会計繰入金の状況

平成28年度の収益的収入の繰入金は、21億2,840万円であり、前年度に比べ4,022万円増加しています。増加した主な理由は、志摩病院への医療行政に要する経費に対する繰入金の増によるものです。

資本的収入の繰入金は、7億5,001万円であり、前年度に比べ140万円増加しています。増加した主な理由は、こころの医療センターの地域生活支援施設化改修工事等建設改良費に対する繰入金の増によるものです。

繰入金の内訳

(単位：円・%)

病院名等	区 分	平成28年度 (A)	平成27年度 (B)	増 減 (A) - (B)	増減率 (A) / (B)
こころの医療 セ ン タ ー	収益的収入	897,202,000	888,601,000	8,601,000	101.0
	資本的収入	245,727,000	212,919,000	32,808,000	115.4
	計	1,142,929,000	1,101,520,000	41,409,000	103.8
一 志 病 院	収益的収入	328,851,000	328,602,000	249,000	100.1
	資本的収入	10,907,000	51,885,000	△ 40,978,000	21.0
	計	339,758,000	380,487,000	△ 40,729,000	89.3
志 摩 病 院	収益的収入	798,066,000	770,880,000	27,186,000	103.5
	資本的収入	492,366,000	482,795,000	9,571,000	102.0
	計	1,290,432,000	1,253,675,000	36,757,000	102.9
県 立 病 院 課	収益的収入	104,284,000	100,096,000	4,188,000	104.2
	資本的収入	1,013,000	1,013,000	0	100.0
	計	105,297,000	101,109,000	4,188,000	104.1
合 計	収益的収入	2,128,403,000	2,088,179,000	40,224,000	101.9
	資本的収入	750,013,000	748,612,000	1,401,000	100.2
	計	2,878,416,000	2,836,791,000	41,625,000	101.5

(注) 1 収益的収入＝病院運営に係る政策的医療及び不採算医療等に要する経費の繰入金
2 資本的収入＝建設改良に要する経費の繰入金

第4 病院別の状況

1 こころの医療センター

(1) 患者数の状況

平成28年度の延べ入院患者数は103,904人（1日平均285人）であり、前年度に比べ1,954人増加しています。延べ外来患者数は61,611人（1日平均254人）であり、前年度に比べ309人減少しています。

（患者数の推移のグラフは14頁に掲載）

(2) 経営成績

平成28年度の総収益は32億2,311万円であり、診療単価の減による入院収益の減等により、前年度に比べ6,052万円減少しています。

総費用は31億9,742万円であり、減価償却費の減等により、前年度に比べ3,484万円減少しています。

総収支は、前年度に比べ2,567万円減少し、2,568万円の黒字となっています。

（総収益と総費用の推移のグラフは15頁に掲載）

2 一志病院

(1) 患者数の状況

平成28年度の延べ入院患者数は13,903人（1日平均38人）であり、前年度に比べ700人増加しています。延べ外来患者数は20,688人（1日平均85人）であり、前年度に比べ567人減少しています。

（患者数の推移のグラフは14頁に掲載）

(2) 経営成績

平成28年度の総収益は9億7,094万円であり、入院収益や外来収益の増加に加え、津市からの受託料の増等により、前年度に比べ7,047万円増加しています。

総費用は8億8,264万円であり、委託費等経費の増等により、前年度に比べ944万円増加しています。

総収支は、前年度に比べ6,102万円増加し、8,829万円の黒字となっています。

(総収益と総費用の推移のグラフは15頁に掲載)

3 志摩病院

(1) 患者数の状況

平成28年度の延べ入院患者数は81,177人(1日平均222人)であり、前年度に比べ6,480人増加しています。延べ外来患者数は78,159人(1日平均322人)であり、前年度に比べ971人増加しています。

(患者数の推移のグラフは14頁に掲載)

(2) 経営成績

平成28年度の総収益は12億487万円であり、指定管理者に交付する経営基盤強化交付金に係る一般会計繰入金が増などにより、前年度に比べ2,428万円増加しています。

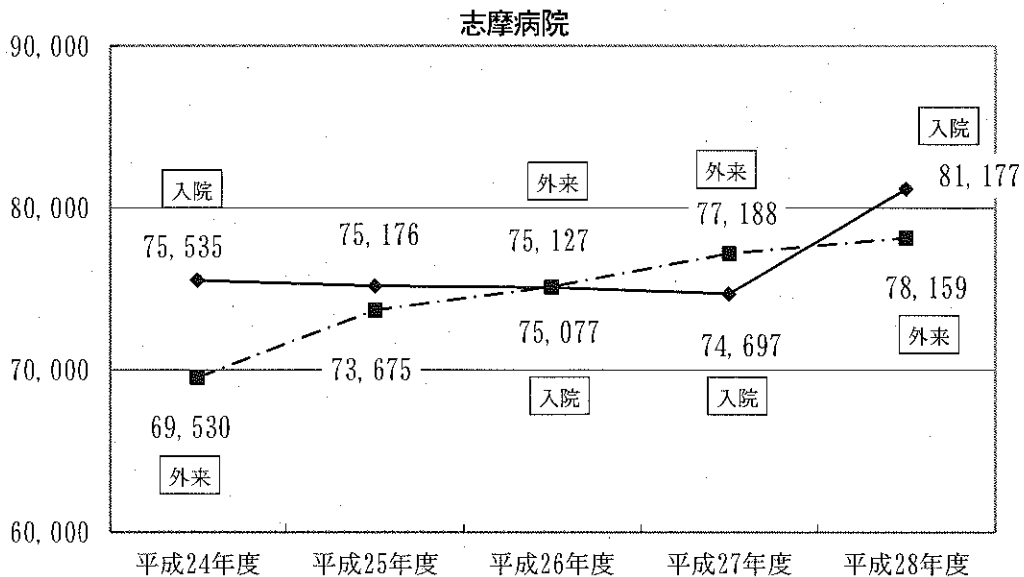
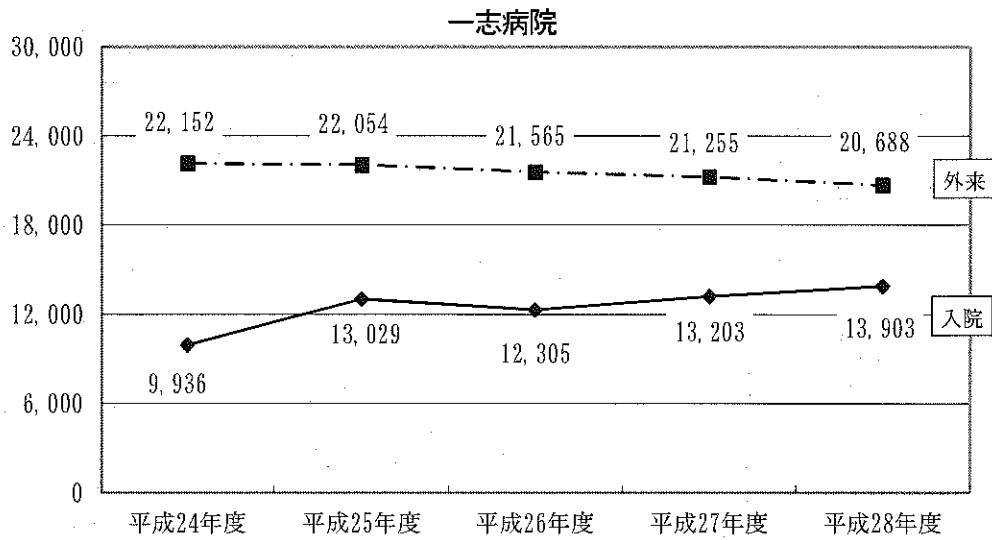
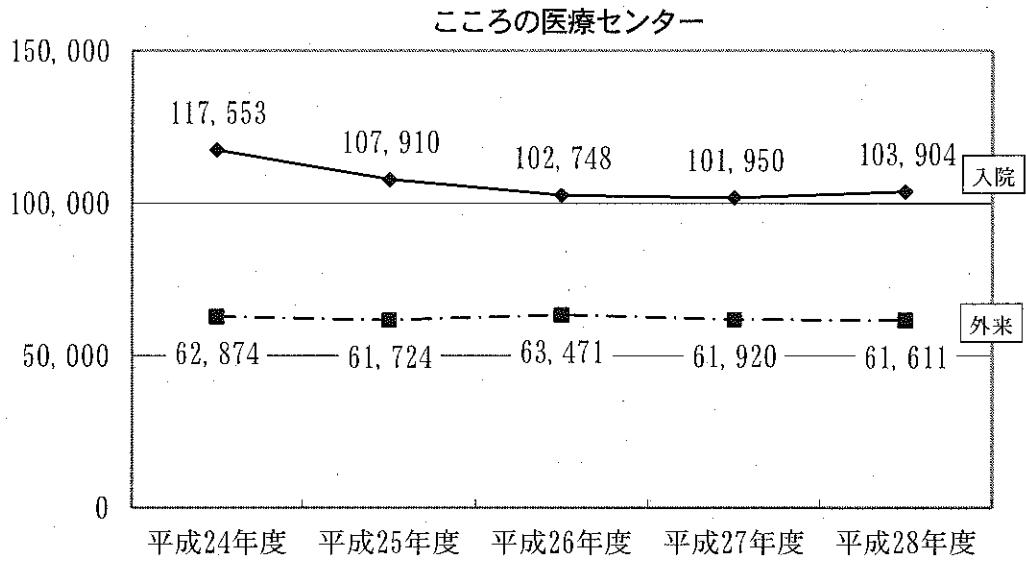
総費用は12億708万円であり、指定管理者に交付する経営基盤強化交付金の増などにより、前年度に比べ2,280万円増加しています。

総収支は、前年度に比べ147万円改善し、221万円の赤字となっています。

(総収益と総費用の推移のグラフは15頁に掲載)

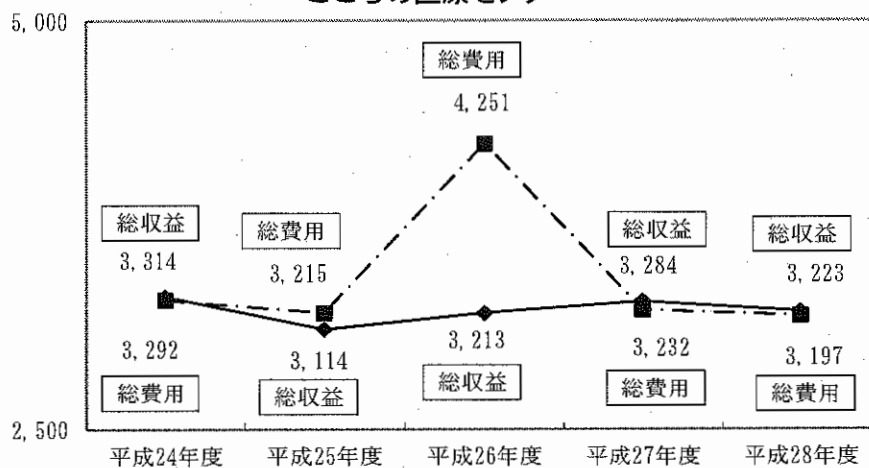
(参考)

患者数の推移 (単位: 人)

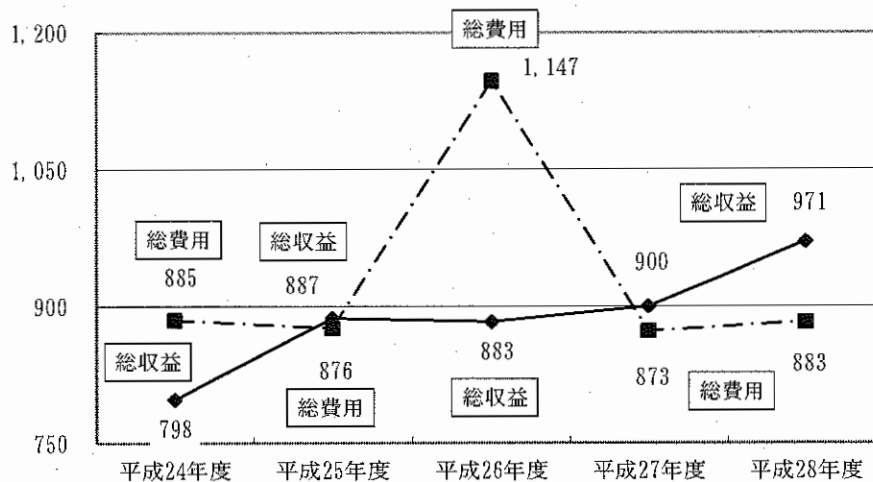


総収益と総費用の推移（単位：百万円）

こころの医療センター



一志病院



志摩病院

